

# 発見！まちのグルメ

## ぎょうざ専門店 < 一福 > いっぶく

3年前に池上通りで開店したこの辺ではめずらしいぎょうざ専門店のお店です。

お店で手作りしているぎょうざは、キャベツが大きめにカットされており、歯応え抜群！！キャベツは三ツ又商店街入り口にある八百屋さんから仕入れているそうです。

スタンダードの「一福ぎょうざ」の他に、にんにくたっぷり「こく旨ぎょうざ」・にんにくなし「肉極みぎょうざ」・しそ入りの「しその葉ぎょうざ」があります。一番人気は「一福ぎょうざ」で、冷凍販売もありその場で発送もしてくれます。お土産や贈り物として購入されるお客様も多いそうです。



3年経って大井町にもなじんで来たようです。11月から新オーナーとなった岡本さんが、ひとつひとつ手作りされているぎょうざを是非、ご家庭で味わってみてはいかがでしょうか。

【安井・福島】

- 一人前（20個）600円～
- 定休日：木曜日
- 営業時間：11:00～20:00
- TEL：03-6417-1355
- 住所：大井4-14-28

プレゼントの見せ合いっこがとっても微笑ましいですね！サンタさんと子供たちの温かい雰囲気がよく描かれています(´▽`)「あけてびっくり」というテーマをより伝えるために、プレゼントをもっと大きく描いてみせると良いかも！



【五十嵐】



山中小3年 みのもむし 「あけてびっくり」

11月23日は勤労感謝の日です。定年の引上げ、生涯現役社会。敬老感謝の日が制定される日も近いかもかもしれませんね？！

【平松】

母 姉 母 姉 母 妹  
お母さんお仕事お疲れさま  
明日は敬老の日だね。  
違つよ  
さすが、お姉ちゃん♪  
明日は敬老感謝の日だよ!!  
・・・ありがたい日だな(遠)



次回は、大井二丁目町会長の塚越恒夫さんです。ご期待ください。

【梶山】



滝王子地区のご出身で、若い頃から大井滝王子町会の活動に関わり、その会長になって今年で6年。餅つき、レクリエーション、地区のお祭りなど、町会行事に精力的に取り組みられています。

野球が大変お好きとのこと。少年野球の滝王子イーグルスの創設に関わり、以後も役員を歴任されました。現在も、地区の少年野球連盟で副理事長を務めながら、子どもたちの成長を日々楽しみにされています。

第3回 わ!しながわ 地域の方を紹介するコーナー。次の方を紹介して頂き「地域の輪」を広がっていきましょう。

山田勝弘さん

## 行ってみ隊！ 見隊！ 昭和の大井町にワープ!! ジオラマ DVD 『小さなパラダイス』

「懐かしい昭和の大井町をジオラマで再現しました」ふれあい掲示板に貼ってあったDVD上映会のチラシを覚えていますか。魅せられた私たちは、ジオラマ製作・企画・作曲・編集まで手掛けた大井町在住の石井さんに想いや今後の予定等をお伺いしてきました。

同窓生の集いにて、DVD 上映されました。会場には、現在の大井町と、ジオラマを使った過去の写真が比較されていて、わかりやすかったです。



大井町のジオラマを手がけ始めて約1年半、DVDの企画、作曲、演奏、編集も自ら行い、仲間の協力を得て、今年6月にDVD『小さなパラダイス』が完成。前述の上映会の他、10月15日には大井第一小同窓生の集いで上映。12月16日には山中小の山中まつりにて上映予定です。「大井町の語り部」では、皆さんの声に応え、来年2月の大井第二地区文化祭にて再上映する予定です。皆さんも、大井町を愛する石井さん「小さなパラダイス」をみて、昭和の大井町に55分間タイムトリップしてみませんか。



高村智恵子さんが入院していた大井町病院。当時はゼームス坂病院と呼ばれていました。

最初にスタジオ内で、50cm四方のジオラマを50枚程制作。撮影の都度、形を動かすため残念ながら最終的には原型は留めません。史実確認に1か月以上掛かることもあり、残っている記録は少なく、記憶もおぼろげで事実とは違う部分もあります。「自分の思い出を表現しているのです。押し付けるつもりはありませんが、見た人に喜んでもらえたら嬉しいです。故郷は山や川だけではなく、雑多な町も故郷です。理屈ではなく大井町が好きです！生まれ育った町(故郷)だから、楽しくリラックスして制作できました。」と語る石井さん。DVDには、詩人・彫刻家の高村光太郎と妻智恵子がゼームス坂病院で寄り添う場面があります。これを見た高村光太郎財団から、花巻ゆかりの高村光太郎や宮沢賢治の生涯をジオラマで表現してくれないかと依頼され、取り組み始めているそうです。「ジオラマを通じての出会いも楽しい」と石井さん。



東急大井町線駅前の陸橋あたり。理髪一番の横にあった天津甘栗のお店です。

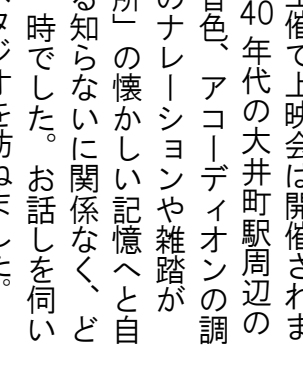
ジオラマ制作は本業ではなく、思い出の場所や記憶を残すために10年程前から始め、仕事のかたわら『鎌倉江ノ電』のジオラマを制作。作品は江の島駅に飾られています。また、小津安二郎と原節子に捧ぐ『北鎌倉』のミニジオラマは、江東区の古石場文化センターでDVDと共に見ることが出来ます。その後、いよいよ生まれ育った大井町のジオラマに着手。



国鉄(現 JR)大井町駅前のロータリーです。かんべ土地の看板が見えます。



7月8・26日「大井町の語り部」主催で上映会は開催されました。画面に映し出される昭和30〜40年代の大井町周辺のジオラマ映像と共に流れるギターの音色、アコーディオンの調べ、笑いを誘う歌詞、さらに会話調のナレーションや雑踏が「過ぎ去りし日々」「楽しかった場所」の懐かしい記憶へと自然に誘います。かつての大井町を知る知らないに関係なく、どこか懐かしくて、優しく満たされる一時でした。お話しを伺いたくて、二葉にある石井彰英さんのスタジオを訪ねました。



昭和30年頃の大井町の駅舎です。屋台にいる酔っぱらった人たちが幸せそうです。